

奥会津だより



新月伐採

樹齢約百八十年の桁の巨木を、安全祈願の礼を尽くして
新月の前日に伐採した。
新月の直前一週間の間に伐ると樹液が上がっていて、
カビや虫が入りにくく、用材としても割れにくいという。
急峻な崖にあって倒木の影響が危惧されてもいた。
伐採後は新たな萌芽がはじまる。

写真：清水健司

おみ

檜枝岐村立檜枝岐小学校 五年 橋 杏泉



これは、おじいちゃんが四年生ごろの写真です。一番左の男の子がおじいちゃんです。おじいちゃんを着ているかすりもようのおみは、寒い日には毎日着ていたそうです。そのころはジャンパーなどがなかったもので、昔のおじいちゃんにはとても大切なものだったのかなと思いました。おみの中には綿が入っているもので、とても温かかったそうです。おじいちゃんやおじいちゃんのおみはすべてお母さんの手作りでした。やぶけたり穴が開いた所もすべて親が直してくれました。私はおじいちゃん達が着ていた

取材ノート

Q:「おみ」というのは「綿入れ半纏」のことですね？

喜代一さん:「そうですね、子どもの頃から「おみ」と言っていました。」

Q:「杏泉さん」は「お店で売っている」とはちがいが「. . .」と書いてありましたか？

杏泉さん:「お母さんが時間をかけて作ってくれたから、気持ちがいいです。」



祖父・橋 喜代一さん

(昭和18年5月生70歳)

孫・橋 杏泉(あずみさん)

(檜枝岐小学校6年 平成13年5月生12歳)

おみは、お店で売っているのとはちがいで、手作りのので気持ちがいいです。おじいちゃんやおじいちゃんのおみは、お正月だけ新しいおみを買って使っていたそうです。おじいちゃんやおじいちゃんのおみは、「新しいおみを買ったときは、とてもうれしかったです。」と言っていました。そして、おみがお小さくなったら上の人からおさがりをもらっていました。でも一番上のおみは、おさがりがないので、新しいものを作ってもらっていました。

Q:「おみ」を大切にしている心が今でも身についているからだと思います。おみについているからだと思いますか？

喜代一さん:「それはそうでしょう、食べ物でも何でも身についたものは一生物ですよ。例えば、山の山菜とかキノコ、これはいっ食べる、食べられる、食べられないとか、食べ方とか. . .」

Q:「おみ」は、お母さんが時間をかけて作ってくれたから、気持ちがいいです。おみについているからだと思いますか？

喜代一さん:「それは、5月12日が春祭りでしょう、それが終わったから行くんですよ、種まきに。そして、お盆に降りてきて、お盆とお祭りやって、秋に取り入れに行くんです。この辺は耕地が少ないんですか. . .」

Q:「おみ」は、お母さんが時間をかけて作ってくれたから、気持ちがいいです。おみについているからだと思いますか？

喜代一さん:「それは、5月12日が春祭りでしょう、それが終わったから行くんですよ、種まきに。そして、お盆に降りてきて、お盆とお祭りやって、秋に取り入れに行くんです。この辺は耕地が少ないんですか. . .」

Q:「おみ」は、お母さんが時間をかけて作ってくれたから、気持ちがいいです。おみについているからだと思いますか？

おみは、お店で売っているのとはちがいで、手作りのので気持ちがいいです。おじいちゃんやおじいちゃんのおみは、お正月だけ新しいおみを買って使っていたそうです。おじいちゃんやおじいちゃんのおみは、「新しいおみを買ったときは、とてもうれしかったです。」と言っていました。そして、おみがお小さくなったら上の人からおさがりをもらっていました。でも一番上のおみは、おさがりがないので、新しいものを作ってもらっていました。

Q:「おみ」は、お母さんが時間をかけて作ってくれたから、気持ちがいいです。おみについているからだと思いますか？

喜代一さん:「それは、5月12日が春祭りでしょう、それが終わったから行くんですよ、種まきに。そして、お盆に降りてきて、お盆とお祭りやって、秋に取り入れに行くんです。この辺は耕地が少ないんですか. . .」

Q:「おみ」は、お母さんが時間をかけて作ってくれたから、気持ちがいいです。おみについているからだと思いますか？

喜代一さん:「それは、5月12日が春祭りでしょう、それが終わったから行くんですよ、種まきに。そして、お盆に降りてきて、お盆とお祭りやって、秋に取り入れに行くんです。この辺は耕地が少ないんですか. . .」

Q:「おみ」は、お母さんが時間をかけて作ってくれたから、気持ちがいいです。おみについているからだと思いますか？

喜代一さん:「それは、5月12日が春祭りでしょう、それが終わったから行くんですよ、種まきに。そして、お盆に降りてきて、お盆とお祭りやって、秋に取り入れに行くんです。この辺は耕地が少ないんですか. . .」

Q:「おみ」は、お母さんが時間をかけて作ってくれたから、気持ちがいいです。おみについているからだと思いますか？

喜代一さん:「それは、5月12日が春祭りでしょう、それが終わったから行くんですよ、種まきに。そして、お盆に降りてきて、お盆とお祭りやって、秋に取り入れに行くんです。この辺は耕地が少ないんですか. . .」

Q:「おみ」は、お母さんが時間をかけて作ってくれたから、気持ちがいいです。おみについているからだと思いますか？

喜代一さん:「それは、5月12日が春祭りでしょう、それが終わったから行くんですよ、種まきに。そして、お盆に降りてきて、お盆とお祭りやって、秋に取り入れに行くんです。この辺は耕地が少ないんですか. . .」

Q:「おみ」は、お母さんが時間をかけて作ってくれたから、気持ちがいいです。おみについているからだと思いますか？

写真・文責:菅 敬浩

熊ぶち

檜枝岐村立檜枝岐小学校 五年 平野 猛



この写真は、今八十一才のおじいちゃんとおじいちゃんのお兄ちゃん、その友達と熊ぶちに行っていた時のものです。「だいたい二十五才くらいのころだなあ。この写真は三人だけ、七人や、多い時は十何人で行くこともあった。季節は春で、四月から五月あたりに行った。熊の見つけ方は、足あとを見つけてそれにそって歩いて行った。とつたときは、うれしくて、みんなバンザイしたもんだ。その後、さばいて、うではうで、

取材ノート

Q:「猛君と「熊ぶち」の話をしたのは、初めてですか？

時男さん:「セナ(兄)はわからないが、オレは初めてだ。Q:「熊のい(たんのう)は、どれぐらいの値段でしよう?」

時男さん:「1匁(3・75g)4万ぐらいする。」

祖父・平野 時男さん

(昭和6年7月生82歳)

孫・平野 猛(たけし君)

(檜枝岐小学校6年 平成13年6月生12歳)

Q:「熊のい」の大きさはどれぐらいですか？

時男さん:「(両手の親指と人差し指を合わせて)これぐらいかな。乾燥すると4分の1ぐらいになる。」

Q:「どうやって乾燥させるのですか?」

時男さん:「つるしておいて、網に挟んでだんだんに重石をかけていく。一度にやると裂ける。最近では口口になって、その網がゴムのようになって自然に平均に締まるようになっていて。昔は石だった。」

Q:「熊のい」を細かく切つて保存、というのは?」

時男さん:「熊を獲った十人なら十に、八人なら八つに分す。兄弟二人で獲ったこともある。」

Q:「小さな熊は獲らなかつたのでしょうか?」

時男さん:「熊は凶暴つてやっているので、それを仕留めるのはとても勇気がいるな、と思いました。」

足は足にそれぞれ分けてしまつて帰った。うちにもどると、熊飯などにして食べた。ないぞう、しんぞう、きもかんぞうは焼いて食べた。熊のい(たんのう)は、値段が高くて売つたりもした。また、それを乾燥させて、細かく切つて保存し、病気の時は、器に入れて、湯でといて飲んだり、きず口にぬつたりした。」

時男さん:「いや、獲るは獲つた。ワカゴエモチといつて、子熊にミルクを与えたりした。少し大きくなるとご飯で大丈夫。熊はハチミツとか甘いものが好きだから、ご飯に甘いものをかけて食べさせたりした。」

Q:「熊のい」は、お母さんが時間をかけて作ってくれたから、気持ちがいいです。おみについているからだと思いますか？

喜代一さん:「それは、5月12日が春祭りでしょう、それが終わったから行くんですよ、種まきに。そして、お盆に降りてきて、お盆とお祭りやって、秋に取り入れに行くんです。この辺は耕地が少ないんですか. . .」

Q:「おみ」は、お母さんが時間をかけて作ってくれたから、気持ちがいいです。おみについているからだと思いますか？

喜代一さん:「それは、5月12日が春祭りでしょう、それが終わったから行くんですよ、種まきに。そして、お盆に降りてきて、お盆とお祭りやって、秋に取り入れに行くんです。この辺は耕地が少ないんですか. . .」

Q:「おみ」は、お母さんが時間をかけて作ってくれたから、気持ちがいいです。おみについているからだと思いますか？

喜代一さん:「それは、5月12日が春祭りでしょう、それが終わったから行くんですよ、種まきに。そして、お盆に降りてきて、お盆とお祭りやって、秋に取り入れに行くんです。この辺は耕地が少ないんですか. . .」

Q:「おみ」は、お母さんが時間をかけて作ってくれたから、気持ちがいいです。おみについているからだと思いますか？

喜代一さん:「それは、5月12日が春祭りでしょう、それが終わったから行くんですよ、種まきに。そして、お盆に降りてきて、お盆とお祭りやって、秋に取り入れに行くんです。この辺は耕地が少ないんですか. . .」

Q:「おみ」は、お母さんが時間をかけて作ってくれたから、気持ちがいいです。おみについているからだと思いますか？

喜代一さん:「それは、5月12日が春祭りでしょう、それが終わったから行くんですよ、種まきに。そして、お盆に降りてきて、お盆とお祭りやって、秋に取り入れに行くんです。この辺は耕地が少ないんですか. . .」

写真・文責:菅 敬浩

こども聞き書き百選 『じいちゃんありがとう』より

奥会津の食材と料理

トチ餅



トチの実は 1ヶ月ほど乾燥させてから保存する。皮をむいて冷たい川で晒すこと約一週間。さらに数日間、灰の水を通してようやくアク抜きが完了する。もち米と一緒に搗いたトチ餅は、適度な苦味と独特の香りが好まれて、手間隙をかけながらも作り続けられてきた。搗きたても、焼いても、それぞれに風味が異なり、ふるさとの懐かしい味となっている。

奥会津の生き物たち

熊の足跡



奥山が熊の領域だが、数年来、人家近くに出没することも多くなっている。里山の荒廃は年々深刻さを増している。

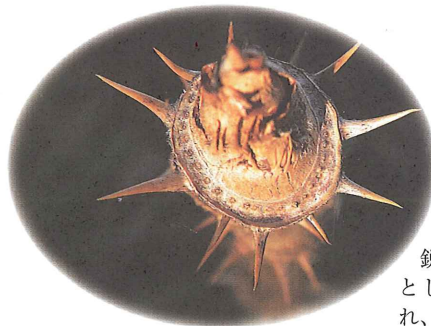
しかし、雨上がりの里山はとりわけ紅葉がうつくしい。その足元に大きな熊の足跡。冬眠前に食料を求めて歩く熊の姿が見えるようだ。

再生されたモノたち



ロケットストーブ

二瓶厚さん(65)が作る、20リットルオイル缶に煙突をL字に通しただけの屋外用ストーブ。煙突の周りに土壌改良剤(パーライト)を詰めるので、断熱と同時に燃焼効率を高め、煤(すす)が溜まらず煙も出ない。横から木を入れて燃やすとロケットのような音をたてて燃えるので「ロケットストーブ」と呼ぶ。「お湯を沸かしたり調理もできる。工夫次第で屋内でも使える」と研究に余念がない。



ハリギリ(センノキ)の冬芽

鋭いとげを持つセンノキ。葉を落とした枝先ではすでに冬芽が生まれ、蕾を包んでいる。

自然に添った暮らし

写真・文 竹島 善一

雪の早い遅いは自然の都合であるが、12月のはじめには冬への備えが万全に整った。軒下の薪は暖を取るための燃料。庭木を雪の重圧から守る丸太も例年通り組み上げた。

この家を守り、ここでの生活を営む手順が、静かにして無駄のない景色をつくっている。

(平成18年12月 金山町玉梨)



Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「セナ」

ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、柳津町の「桐下駄」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979

奥会津書房 宛

●応募締切：2013年12月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号78号で発表いたします。



◎76号「まってご」の答え：「一緒に」

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー

お便り紹介

- 現在は、年齢の違う子どもたちの遊ぶ姿などがあまり見られなくなりました。外で走り回っている子どもの姿も少なく、少子化の言葉通りの日常です。(H.Tさん 大玉村)
- うちは飲食店をしているので、油を一斗缶でとります。向かいのおじいさんは大工さんで、その空いた一斗缶を、やっぱりチリトリにリサイクルしていたのです。形は違うけど、懐かしく思い出しました。(M.Yさん 静岡県熱海市)
- 毎年日帰りで木賊温泉までの道中、鮮やかな紅葉を眺めながら行きます。車の窓を開けて自然を一杯浴びていくのが楽しみです。(S.Hさん 茨城県稲敷市)
- 祖父母と孫が交流するコーナーが好きです。私は他県から嫁にきたので、南会津の父母の幼い頃の様子がわかったり…。孫がおじいちゃんやおばあちゃんをより深く知るよい体験ではないでしょうか。(H.Yさん 南会津町)

奥会津だより
定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

奥会津アトベンチャー キャンペーン

ゆき湯風呂椅子

奥会津地域の温泉を巡るとオリジナル温泉アイテムがもらえる「ゆき湯湯印帳」と、麺を食べてシールを集めると旨麺アイテムがもらえる「奥会津旨麺帳」を配布しています。



オリジナル
旨麺どんぶり

平成26年
2月28日まで



奥会津の魅力を満喫して、限定アイテムがもらえるお得なキャンペーンです。景品は先着順ですので、お早めに御参加ください。

〈問い合わせ〉 只見川電源流域振興協議会 電話番号：0241-48-5525

奥会津イベント情報

11月中旬～1月中旬

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
11月23日(土)	「こぶし館」新そばまつり&収穫祭	金山町	道の駅奥会津かねやま	道の駅奥会津かねやま ☎0241-55-3334
12月21日(土)	会津高原たかつえスキー場オープン	館岩地域	会津高原たかつえスキー場	会津高原たかつえスキー場 ☎0241-78-2220
	尾瀬檜枝岐温泉スキー場オープン	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐スキー場	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
	只見スキー場オープン	只見町	只見スキー場	只見スキー場 ☎0241-82-2304
12月22日(日)	喫茶キャンドル	只見町	只見スキー場	「100万人のキャンドルナイト・イン只見」実行委員会 ☎0241-82-2304
	会津高原南郷スキー場オープン	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場センターハウス ☎0241-73-2111
	会津高原高畑スキー場オープン	伊南地域	会津高原高畑スキー場	会津高原高畑スキー場 ☎0241-76-2231
12月23日(祝・月)	柳津温泉スキー場オープン	柳津町	柳津温泉スキー場	財団法人やないづ振興公社 ☎0241-42-2302
	フェアリーランドかねやまスキー場オープン	金山町	フェアリーランドかねやまスキー場	オープン前：道の駅奥会津かねやま ☎0241-55-3334 オープン後：フェアリーランドかねやまスキー場 ☎0241-54-2022
1月1日(祝・水)	元朝詣り	柳津町	福満虚空藏菩薩圓藏寺	柳津観光協会 ☎0241-42-2346
1月1日(水)、2日(木)	お正月歓迎イベント	只見町	只見スキー場	只見スキー場 ☎0241-82-2304
1月7日(火)	七日堂裸詣り	柳津町	福満虚空藏菩薩圓藏寺	柳津観光協会 ☎0241-42-2346
1月14日(火)	鳥追い	三島町	三島町桧原地区	三島町教育委員会 ☎0241-48-5599
	両原早乙女踊り	昭和村	昭和村両原地区	昭和村役場産業建設課 ☎0241-57-2117
1月15日(水)	歳の神	檜枝岐村	檜枝岐村内	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
	サイノカミ	三島町	三島町各地区	三島町教育委員会 ☎0241-48-5599
1月～3月	里山スノーシュートレッキング	伊南地域	南会津町多々石地区ほか	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-76-2517



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：11月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
http://www.okuaizu.net ☐webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。